

消費税は、逆進性があることから貧困と格差をさらに拡大させる税制です。格差の拡大を解消するには、応能負担原則を貫いて、高所得者や大企業に対する課税を適正にし、その財源を社会保障制度を通して、社会に再配分することが求められます。このことはフランスの経済学者で、社会的不平等の専門家トマ・ピケティが著書『21世紀の資本』で指摘しています。総会後の記念講演では「ピケティ入門」の著者竹信三恵子さんのお話を聞きます。

とき 2015. 6/23(火)

総会/13:30~14:00(13:00 開場) 記念講演/14:00~15:30(終了予定)

ところ 東京エレクトロンホール宮城 6階 601 会議室

仙台市青葉区国分町3-3-7

定員 200人 [参加費 無料 ※申し込み必要]

託児 あり ※事前申し込み必要(1歳以上)

6/15(月) 〆切 託児料無料

講師 ジャーナリスト、和光大学教授 竹信三恵子さん

【プロフィール】

ジャーナリスト、和光大学教授。1976年朝日新聞社入社、経済部記者、編集委員兼論説委員などを経て、2011年より現職。『週刊金曜日』で経済コラム執筆。2009年「貧困ジャーナリズム賞」受賞。著書は『家事労働ハラスメント』(岩波新書)、『ルポ 賃金差別』(ちくま新書)、『ルポ 雇用劣化不況』(岩波新書)、『「全身〇活」時代 就職・婚活・保活からみる社会論』(共著)、『ピケティ入門』(株式会社金曜日)など。



## 記念講演 『ピケティから考えるアベノミクス』 ～ 私たちに何が必要か～

第13回総会&記念講演にご参加ください！！



主催：消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城

仙台市青葉区本町 2-16-12 仙台商工会議所内 担当：小野寺（日専連宮城県連合会気付） TEL022-266-3541 FAX022-267-6654